

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	昨年度は介護度が重い入居者が多く、食事作りをすべて外部に依頼していたが、一年間に5回の入退居があり食事作りに関われる入居者が増えてきた。その方々の機能を低下させないため、また力を発揮していただくためにも、新鮮な畑の野菜を使った食事作りをしていきたいと思う。	年度末までに週2日、朝昼夕・3度の食事を、献立作りや買い物も含めすべて、入居者を交えてグループホームで行う。	5月：日曜日-朝食 6月：日曜日-朝・昼食 7月：日曜日-朝・昼・夕食 8月：日曜日3食＋水曜日-朝食 9月：日曜日3食＋水曜日-朝・昼食 10月～：日曜日3食＋水曜日-朝・昼・夕食作り	12ヶ月
2	43	グループホームでは、リハビリパンツや尿取りパッドなどの排泄用品は、すべて自己負担となっている。また個々にあったトイレ誘導をしているつもりでも、誘導時パッドが汚れている方もいる。	誘導のタイミングや使用パッド類を検討することで、家族への負担を減らすとともに、入居者には快適な生活をしていただく。	①昨年度のパッド等使用料をチェックする。 ②個々の使用パッド類、誘導のタイミングについてカンファレンスで検討⇄実行を繰り返す。 ③年度末にはパッド等の使用料が減っている。尿汚染・尿漏れしなくなっている。	12ヶ月
3	2	地域密着と言いつつ、地域との交流がない。	地域の行事に参加し、地域との交流を図る。年に4回を目標とする。	①4～5月 小中学校や地域の年間計画を調べる。 ②季節ごとに一年に4回、参加行事を決め、企画書作成、実行する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。